

令和5年度 富士川町子ども・子育て会議 会議録

会議名称 富士川町子ども・子育て会議  
会議日時 令和5年7月25日(火) 午後7時30分から  
開催場所 富士川町役場1階会議室  
出席者 委員 15名  
事務局 6名  
庁内検討委員 5名

傍聴人数 0人  
議 題 子ども・子育て支援事業計画について

会議内容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 町長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 議事  
会長が議長として議事進行を行う
- 6 その他
- 7 閉会

議事における発言の内容

(1) 会長及び副会長の互選について

(2) 富士川町子ども・子育て会議について

・事務局(説明)

子ども・子育て支援事業計画の概要、子ども・子育て会議の役割について説明

・委員(意見、質問)

進捗確認シートに取り組みが125個あった。多いため、目次が必要だと思った。進捗状況が一律継続となっているが、いつから始まった取り組みなのか、年数が書いてあるといいと思った。また、過去に中止になったりしたものはあるか。基本目標4番の「配慮が必要な子どもと家庭を支援する」について、冒頭の話では、新しいものだと言っていたが、資料だと継続になっている。また、この会議で意見を言うことでこの中の取り組みが中止になったりすることはあるのか。

・事務局(子育て支援課)

年数等について、古いものもあるので消す部分もあると思う。この会議の中で、考えていかなければならない。内容について、来年、計画の策定の年になるので、見直していかなければならない。またご意見をいただいて、削除する取り組みがあったら、削っていただけたいと思う。この会議で意見を言うことでこの中の取り組みが中止になるか、ということについては、この会議で考えてそれが本当に必要なのかということ、また話し合い、その内容で行くかどうかということを考えていきたい。

・委員(意見)

この表の中に対象とする主な年齢とかライフステージみたいのもあると、プランを受ける側からは見やすいかなと思った。

(3) 令和4年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

・事務局(説明)

各基本目標について概要等を説明後、委員に意見、質問を求める。

## ○基本目標 1 すべての子育て家庭を支援する

### 【施策 1 地域における子育て支援の充実】

- ・意見、質問なし

### 【施策 2 経済的負担の軽減】

- ・委員（質問）

未満児の無償化っていうのは、本当に子どもにとっていいものなのか。本来であれば未満児さんに関しては保護者が看て、できるだけふれあいを持つことが子どもにとって一番良い。保護者からするといいことだと思うが、無償化にすることによって、無償だから預けてしまえ、みたいな傾向が見受けられるような気がする。しかし、子どもにとってはどうなのか、無償について考えた方がいいと思った。

- ・事務局（子育て支援課）

保護者にとっては経済的な軽減になるということで、子育て支援の一つになると思っているが、また違う側面があるということも踏まえ、子育て支援については、親子関係や家庭教育も含めて考えていきたい。

### 【施策 3 児童の健全育成の推進】

- ・意見、質問なし

## ○基本目標 2 仕事と家庭生活の両立を支援する

### 【施策 1 保育サービスの充実】

- ・委員（質問）

病後児保育のところで、病気の回復期は具体的にどの程度のことか。

- ・事務局（子育て支援課）

いわゆる病児ではなく、回復に向かっているということ。その判断はお医者さんに証明をいただいているので、医師の判断ということになる。

- ・委員（質問）

特別な用紙があるのか。それとも口頭でいいのか。

- ・事務局（子育て支援課）

様式があるので、医師に記入していただいて、提出をしてもらっている。

### 【施策 2 ワーク・ライフ・バランスの啓発】

- ・委員（質問）

先日、山梨県知事が、県職員は育児休暇を 100%取らせる、と言っていたが、それに伴い、各市町村並びに企業でも育児休暇の取得を推奨するような意見が出ているが、町としてはどう考えるか。今後、男性職員にも育児休暇を取らしていくような方向になるのか。

- ・事務局（子育て支援課）

県職員の男性の育児休暇を 3 ヶ月にするという発表があったが、いずれ市町村にも影響があると考えている。しかし、現在のところ町でそういった動きはない。

## ○基本目標 3 子どもの健やかな成長を支援する

### 【施策 1 健康の保持・増進】

- ・委員（質問）

山梨県産後ケアセンターの利用者はどれくらいいるか。

- ・事務局（子育て支援課）  
令和4年度は1名で3泊4日利用した。令和5年度は今のところ1名で3泊4日利用した。
- ・委員（質問）  
温泉があり、ゆったりすることができ、どんなことがあっても子どもを預かってくれるような場所だが、この町では、産後ケアセンターにまで行かなくてもいいような子育て環境が整っているということか。
- ・事務局（子育て支援課）  
利用したいお母さんはいるが、上のお子さんがいると気兼ねなく利用することができなかつたり、一番は遠方であるというところで、そこまで行くのなら、ちょっと家で頑張ろうかなというお母さんの声が多いように感じている。あとはコロナ禍というところで産後ケアを利用している上のお子さんも一緒に連れて行ってもいいが、あまり廊下をウロウロしないでお母さんが面倒見てくださいという制約があるのでなかなか気軽に利用できないという現状もある。

#### ○基本目標4 配慮が必要な子どもと家庭を支援する

##### 【施策1 児童虐待の防止】

- ・意見、質問なし

##### 【施策2 ひとり親家庭の自立】

- ・意見、質問なし

##### 【施策3 障害のある子どものいる家庭への支援】

- ・意見、質問なし

##### 【施策4 子どもの貧困対策の推進】

- ・委員（質問）  
ヤングケアラーについては、施策4になるのか。
- ・事務局（子育て支援課）  
ヤングケアラーについては今まで入ってなかったので、こちらの方に載せていこうと考えている。

#### ○基本目標5 子どもの教育環境を充実する

##### 【施策1 特色ある学校教育の充実】

- ・意見（質問）  
町有面積の82%が森林であるので、それを教育に生かしていけたらいいのではないかと。具体的に言うと、キャンプをしたり、川で遊んだり、山に登ったりというのを前面に出すのが富士川町の特色を出すことになるのではないかと。その財源も、森林環境譲与税を生かしていけばいいのではないかと。
- ・委員（教育長）  
大変良い視点であると思う。これから、SDGsから始まり、いろいろな形の中で子どもたちにとってその環境のことや、自分の生活の周りのことを生かしながら生活をしていくことは必要になってくると思うので、そういう方向性についても考えていきたい。教育の中にそういうものを取り入れていく方向性は、それぞれの学校の中でも、いろいろな活動の中で少しずつ取り入れる方向性を持っているので、またいろんな意見を聞きながら、生かして取り入れていきたいと思っている。

【施策2 家庭や地域の教育力の向上】

- ・意見、質問なし

【施策3 次代の親の育成】

- ・意見、質問なし

○基本目標6 安心して子育てできる環境をつくる

【施策1 安心して暮らせるまちづくり】

- ・意見、質問なし

【施策2 交通安全教室】

- ・委員（意見）

「チャイルドシートモデル保育所」は本当に必要なのか。これはいらぬのではな  
いかとこの場で言わない限り、継続のままなのか。

- ・事務局（子育て支援課）

担当課と協議の上、削除したほうが望ましいものは削除していく。

- ・委員（質問）

モデル保育所というのは、今も継続しているものなのか、委託しているものなの  
か。

- ・事務局（子育て支援課）

今後検討していく。

- ・委員（意見）

なかなか1回始まった事業を役所は潰しづらいと思う。スクラップアンドビルド  
していかないと、担当課も大変。冒頭にも言ったように古いものや昔からあるもの  
もあるので、それを新しいタイプに変えていかないと今に合った事業ができない。  
だから、スクラップするための簡単な仕組みとかを作った方がいいと思う。

- ・事務局（子育て支援課）

確かにこの中でも、古くなり、今となれば削除した方がいいなと思うものもあるの  
で、先ほどのチャイルドシートの件も含め、もう一度見直ししていく必要がある。  
今後検討していく。

【施策3 子どもたちの安全確保】

- ・意見、質問なし

(4) 令和4年度子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策実績について

- ・意見、質問なし

その他

- ・委員（意見）

兵庫県明石市は平成28年を境に子どもの人口が増えている。5つの子育て支援の  
柱があり、そのうちの1つに、満1歳の紙オムツと粉ミルクの無料配送があるので、  
これをやったらどうかと思った。これは単に無料でオムツや粉ミルクを配送するの  
ではなく、助産師さんはベターだと思うが、見守り支援員の方が赤ちゃんと保護者  
に会いながら渡している。富士川町もお母さんのところに訪問に行っているが、そ  
れをあえて渡しなからすることで、町への安心感が助成されるのではないかと思う。

あと、子ども食堂について、富士川町でも私の友人がやっているが、町から支援をしてほしいと言っていた。金額的な補助があると嬉しいと言っていたが、町に後援してもらえると動きやすくて法的な感じが出ていいと言っていたので、できたら後援してほしい。

あとは、その活動の会議など、打ち合わせをするときに、例えば南アルプス市は市民活動センターみたいに、無料のワーキングスペースがあるので、富士川町にもそういう場があればいいなということ言っていた。私個人として、子ども食堂は行政の欠落だと思っている。あつてはならないものだと思うが、そこを突くのが行政の役目ではないかなと思う。確かに、支援がピンポイントになってしまうという説もあるが、支援をしていただければと思う。

あと中学校についてですが、制服の購入補助について検討してもらえないか。ご存知の通り中学校の統合に伴って新しい制服の導入が決まった。そうすると、おさがりができなくなる年代が出てくる。そうすると、一番見なければいけない貧困世代の経済負担が大きくなる。だから、制度購入補助をしていただきたい。特に、中学生の男子は成長度合いが大きい。そういうところで制服の補助を検討していただきたい。

- ・事務局（児童保育担当）

第2保育所は令和4年度をもって閉所になった。第2保育所の閉所に伴い、町立保育所の名称を変更することに決めた。第1回富士川町立保育所名称策定選定委員会を4月に開催し、主任児童委員、保育園児の保護者等13名に委員の委嘱をした。名称の募集を5月1日から5月31日まで実施したところ、同じ名称を除き、応募作品数は第1保育所56点、中央保育所57点、第5保育所57点であった。7月4日に事務局で第一次選考を実施し、名称募集実施要項の基準により、該当しない作品を選定した。今後は委員さんによる第1次選考を経て、第2回名称選定委員会において最終選考を行い、来年度4月から新しい名称でスタートする予定。

- ・事務局（子育て支援課）

本日皆様から貴重な意見をいただいてこの進捗シートの中でも削る部分や見直していく部分について考えるいい機会をいただいたので、今後、計画の策定について、いらぬ部分等を削りながら、富士川町の子育て計画をよりよいものにしていくために、アンケート調査の内容について皆様にまたご意見をいただきたいと思っている。次回、2回目として、またお集まりいただき、内容等の検討もしていきたいと思っている。

- ・委員（意見）

こども家庭庁が6月に発足し、こどもまんなかという言い方はしているが、子ども中心ではなく、保護者中心のような流れがある。子どもが中心なアンケートをとっていただきたい。6月ぐらいに神奈川県相模原市が休日保育をやるようになった。保護者がストレス発散のために休日をとって子どもを預けるためのものであるが、それは違うだろうと思った。やはり子どもが中心であれば、子どもは親と一緒にいるのが普通であって、ストレスを解消するために子どもを預けて、自分たちだけはどこかへ行くという考え方は違うのではないか。町でそういう流れが来たときに、同様に判断するかどうかは、町が考えるわけだが、あくまでも子どもが中心の子育てを考えていただき、それに伴うアンケートを実施してもらいたい。

- ・事務局（子育て支援課）

子どもを中心としたアンケート内容を検討していきたい。

以上